

「しゃんしゃん  
チャリン

チャリン」



拍子木と金棒の音が  
澄みきった青空に響き渡り、  
「ア、ヨイヤマカ ヨイ」と  
奴さんたちの威勢のいい掛け声  
城下町の町並みにこだましました。  
九月一日、市の一大イベントで  
郡内地方の秋の風物詩  
「八朔祭り」「大名行列」が盛大に行われました。



本年の出演者は一二〇〇名。

関係自治会の皆さんを始め、消防団、小中学生、都留文大生、地元企業、屋台保存会、赤熊保存会、保育園・幼稚園児、伝統芸能継承団体の皆さんなど多くの方々が出演しました。

道中唄が流れた後、賄い方の「おたーらー」の合図で大行列が谷村の町に繰り出し、道中では、エーモラスを踊りとお披露してくれた奴さんや、

初めて、都留文科大学生の出演による可憐なお姫様、腰元その他、四日市場生出神社の宮本神楽が全行程行列に加わりました。また、御駕籠が二十一年ぶりに改修され、より重厚さを増したお披露目となり

また、優美で迫力ある豪華な飾り幕に彩られた、



四台の屋台では、この祭りに合せ何カ月も前から稽古を重ねた三味線や太鼓など生演奏でのお囃子が披露され、

江戸時代の祭りの賑わいを感じさせ、市内外から訪れた観光客からたくさんの方の

声援がとんでいました。メイン会場の谷村第一小学校校庭では、勇壮な太鼓を皮切りに、保育園・幼稚園児、毛槍保存会、よさこいソーラン扇華、

連合婦人会の舞や踊り、谷村ばやしによる

伝統のお囃子、都留大名連による阿波踊りが披露され、大名行列が会場に姿を現すと、

祭りもクライマックスを迎え、最後に、四日市場生出神社の宮本神楽の奉納が

厳かに行われました。あたりが闇に包まれた頃、祭りのフィナーレを飾る花火が祭り賑わう谷村の空に、行く夏を惜しむかのように、色鮮やかに打ち上がりました。

